

支援室だより

<http://www.okasien.okayama-c.ed.jp/okayyo.htm>

○11月6日(金)7日(土) 岡山支援学校文化祭

今年度も多くの皆さんにご参加いただき、盛大な文化祭になりました。

6日のオープニングセレモニーでは、倉敷アカデミーアンサンブルの皆さんが音楽で一日を表現したり、楽器の紹介をしたりしながら、素敵な演奏を披露してくださいました。ユーモアあふれる進行で、楽しく鑑賞しました。

7日のステージ発表や展示、販売等には、380名もの方々が来て温かい声援や励ましの言葉を送ってください、児童生徒、教職員にとって嬉しい一日になりました。ありがとうございました。また、日頃の学習の成果が発揮できるように、27名の方がボランティアとして参加して、児童生徒と接したり、駐車場係やPTAバザーのスタッフとして活動したりしながら、様々な面で支えてくださいました。大変お世話になりました。ボランティアさんの「感想」を以下に紹介します。



今までに数回授業支援に参加させていただき、その時に仲良くなった生徒たちの成長した姿を見ることができてとても良かったです。中学部の子から「また来てください」と言われたので、また機会があればボランティアに行きたいと思います。今日は本当にありがとうございました。(学生：女性)



当日はあっという間に時間が過ぎました。集合場所で大学生に囲まれた際には、少し恥ずかしかったですが、自分がやってみたいことにチャンスがいただけただけの喜びの方が勝っていました。昼食時に子ども達と過ごす中で教員の皆さんや介助員の皆さんが、丁寧に食事のお世話をされている様子を拝見し、自分ができたことの小ささを感じました。お世話をする方々の本当の御苦労は、たった数時間では私自身十分に理解できていないと思いますが、様子を見ていただけでも勉強になったと感じています。(社会人：男性)

今日は皆さんの文化祭に少しでも貢献できたら、との思いで参加させていただきました。劇を拝見しましたが、ユーモアあふれてとても楽しい劇でした。皆さんの練習の成果が伺えて、感心ばかりでした。小物の売り場を担当しましたが、皆さんが笑顔で対応してくださいととても嬉しかったです。とても素敵な文化祭でした。ありがとうございました。(学生：女性)



○自立支援協議会との連携

県内には 16 の自立支援協議会があります。地域連携係では、本校について広く知ってもらい、自立支援協議会との連携をとっていくため、岡山市の他、赤磐市、高梁市、瀬戸内市、東備地域の自立支援協議会にも参加しています。また、「たかはし福祉フォーラム2015（9月5日）」「せとうち保健福祉フェスタ（11月15日）」「東備福祉フェア（11月21日）」では、学校紹介の展示も行いました。

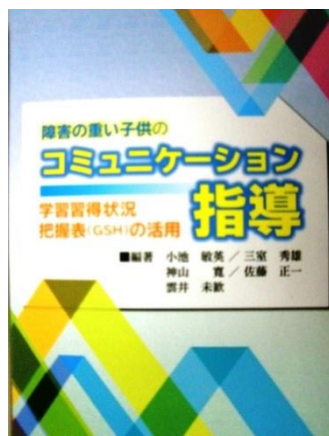


○図書紹介

『障害の重い子どものコミュニケーション指導』

学習習得状況把握表（GSH）の活用

小池敏英・三室秀雄・神山 寛・佐藤正一・雲井未歎 編著



「意味を理解しやすい働きかけを行うことによって、コミュニケーションや話し言葉に関する学習が進んでいく」ことから、学習段階のどこに子どもが位置しているかを把握し、「意味を理解しやすい働きかけ」を工夫していくことがとても大切だとしています。「意味を理解すること」を阻んでいる要因としては、働きかけが感覚的に強すぎることや、身体の姿勢の筋緊張などがあげられ、これらの阻む要因を取り除くとともに学習段階を考慮し、理解しやすい働きかけを組み立てていきます。段階ごとの指導内容や指導事例も多く、重度の子ども達のコミュニケーションの発達を促す上で大変参考になる本です。